

特に良いと思う点		
1	タイトル	人事給与制度等の経営改革への取組み
	内容	19年度より経営コンサルタントを活用して、人事考課制度およびこれとリンクした給与制度を導入している。職員の育成とモチベーション喚起に不可欠な取組みながら、保育園ではまだ馴染みが薄いのが、取組みの早さは高く評価できる。また、人事考課については、リーダー層研修を毎月重ねて、納得性と実効性ある仕組みを目指している。中長期の経営計画については、外部環境・内部環境分析から課題抽出まで実施済みであり、20年度の具体的活動に向けて準備中である。
2	タイトル	地域との密接なつながり
	内容	地域連携としては、夏祭りに地域住民が積極的に関わるなど、18年度新設園ながら地域に溶け込んでいる。食材の仕入れについても、給食委託が広がりがつつある昨今、質の高いものを使うために、地元の専門店を使っているが、これも地域との連携維持につながっている。園児の散歩の際に商店街の社会見学を取り入れているが、この際にも商店街側の協力を得られている。また、園内にある子育て支援センターでは、一時保育が常時10名、その他相談訪問が日々15件程度に達し、その他子育て支援10事業と積極的で、地域への浸透度は高い。
3	タイトル	食へのこだわり
	内容	食材については、安全性と質の両方を追求している。産地を明らかにした食材を地元の専門店から購入しており、日々必要な生鮮食品は当日納品とするなど質の高さを自負している。給食委託と比べてコスト高ではあるが、食育を進める中で、食材の本来の食感や味等を正しく伝えるため、財務的に可能である限りこれを継続方針であることは高く評価できる。
さらなる改善が望まれる点		
1	タイトル	自然へのかかわりが少ない
	内容	園庭が狭いことと駅前商店街のそばに立地していることから、日常的に自然に親しむ活動は出来にくい環境にある。しかしながら、殆ど毎日散歩に出かける中で社会見学の要素を多く取り入れることで補完している。尚、19年度に屋上のゴムチップ敷設工事を実施しており、今後は遊具や植物を配置して、運動を兼ねて自然への親しみに近い機会をつくりだすことに取り組んでいる。
2	タイトル	利用者の意見・要望をより多く集める取組みが求められる
	内容	利用者調査における満足度は全体的に高いが、その中で「要望や不満を事業所に言いやすいか」に対しては「いいえ」が2件であった。職員の対応等の丁寧さには定評あるが、それでも職員が多忙に見える中で保護者から悩み・心配・相談ごとを切り出し難いものとみられる。定期的に、保護者に個別に語りかけるなどして、相談を待つのではなく、引き出す取組みが必要とみられる。
3	タイトル	第三者委員に関する利用者の認識が低い
	内容	苦情解決窓口として第三者委員への相談が可能であることは、園だよりや保護者会にて周知を試みているが、保護者アンケートでは74%が「知らない」との回答。満足度が高いゆえに、相談不要ということも受け止められるが、苦情以外の相談も含めて、職員だけでなく第三者への相談についての啓蒙をさらに深めていくことが求められる。